

春日部市長
石川 良三様

放課後児童クラブの指定管理先公募結果に対する見解

2018年8月20日

春日部市放課後児童クラブ父母会連絡会
代表 國井初江（緑放課後児童クラブ）

貴職におかれましては益々ご活躍のことと存じ上げます。また、春日部市の放課後児童クラブ運営にあたりましては日頃よりご高配を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、私ども春日部市放課後児童クラブ父母会連絡会（以下、連絡会）では、昨年度「放課後児童クラブの充実を求める署名」として、新たな指定先を社会福祉協議会（以下、社協）に一括指定とする事などを趣旨とし、2832筆の署名を集めて市に提出しました。しかし、7月に行われた指定先の公募に対し、社協が応募しなかったことが明らかとなりました。これは、署名を含めた様々な活動を通じて社協への指定を強く要望してきた我々父母の願いを全く無視した結果であり、極めて遺憾であります。社協が主催して公募直前の6月30日に開催された「第1回放課後児童クラブ運営連絡会議」の席上に於いて、「3ブロック共社協が応募する予定か？」との父母からの質問に対し、社協からは「実績もある事なので、前向きに検討している」との回答がありました。にもかかわらず、社協は応募しませんでした。

「前向きに検討中です」という言葉であたかも応募するかの様な印象を与え、一旦父母を安心させておきながら、実際には応募せずに継続的な保育の実現を断絶させてしまう行為に対し、我々は強い衝撃を受けるとともに、行政に対する不信感を禁じずにはられません。保育課は…春日部市は、社協が応募しない事に対して了承していたのでしょうか。これは市の働きかけによりもたらされた結果なのでしょうか。

仮に、政策上の判断により社協による保育を転換するものだとしても、少なくとも利用者である父母に対し方針を説明し、納得させた上で政策を実行する義務が行政にはあるのではないのでしょうか。今回の極端な転換がどのような理由で、どのような経緯で行われたのか、社協及び春日部市に対し、我々はきちんとした説明を求めます。

以上